

「都市の緑3表彰」の受賞者決定について

一般財団法人第一生命財団(理事長:渡邊光一郎、以下「当財団」)が支援する「都市の緑3表彰」(緑の環境プラン大賞、緑の都市賞、緑化技術コンクール)の受賞者が別紙のとおり決定しました。

1. 第35回「緑の環境プラン大賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプラン実現のために緑化整備費を助成するものです。

2. 第44回「緑の都市賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、特別協賛:一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市づくりの推進を目的に、緑を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰するものです。

3. 第23回「緑化技術コンクール」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、特別協賛:一般財団法人第一生命財団)

気候変動への適応、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み、優れた成果を挙げている民間企業、公共団体、個人等を表彰するものです。

当社および当財団は、社会貢献取組方針の中心テーマの一つである「環境の保全」に資するものとして、都市緑化の推進や景観の向上、地域社会の活性化などと、それらを通じた地域コミュニティの形成等につながる当賞を長年にわたって支援しています。

(別紙1)第35回「緑の環境プラン大賞」審査結果

(別紙2)第44回「緑の都市賞」審査結果

(別紙3)第23回「緑化技術コンクール」審査結果

第 35 回 緑の環境プラン大賞 審査結果

全国から、シンボル・ガーデン部門 13 点、ポケット・ガーデン部門 25 点、計 38 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。



■シンボル・ガーデン部門(助成額上限:1000 万円/点)

緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより人と自然が共生する都市環境の形成、およびコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プラン


■ポケット・ガーデン部門(助成額上限:150 万円/点)

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだプラン


◎国土交通大臣賞 <2 点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	カラフルな○△□(こせい)が見える『インクルージョンなプレイガーデン』(奈良県生駒郡三郷町)	社会福祉法人 檸檬会	かつて多くの学生で地域の賑わいの中心でもあった大学跡地を利用して、多世代・多国籍の人々が集う新たな交流の場や、インクルーシブな遊び場となる緑の空間を創出するプラン。完成後は、交流促進のためのイベントを定期的で開催したり、維持管理を障がい者就労支援施設と連携して行うなど、誰にとっても居心地のよい社会の実現に寄与できる点等が高く評価された。	
ポケット・ガーデン	和歌山市駅前ストリートガーデン「しえきのにわ」(和歌山県和歌山市)	一般社団法人 市駅グリーンプロジェクト	和歌山市駅前の歩道に、公民学連携による社会実験として天然芝や花壇、ウッドデッキ等で構成された、緑の潤いと人々の憩いを育む「ストリートガーデン」を設置するプラン。街路景観や歩行者快適性の向上、地域コミュニティの交流促進などにより、和歌山市の玄関口にふさわしい新たな駅前通りの実現が期待できる点が評価された。	


◎都市緑化機構賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	わち山野草の森への いざない —地産地消で つくる、みどりの トンネル— (京都府船井郡 京丹波町)	一般財団法人 和知ふるさと 振興センター	自然や山野草を愛する人々が集う公園の入口付近に、かつて園内に多く見られた春の女神ギフチョウが舞う景観を取り戻すための緑化空間「みどりのトンネル」を整備するプラン。地域の間伐材の利用や、蜜源植物の植栽等、子どもたちを対象とした環境教育の場としての活用等も考慮した点が評価された。	

◎第一生命賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	里に触れる まちのひとつ ～江坂ひとつき プロジェクト～ (大阪府吹田市)	株式会社 イー・コンサル	環境・エネルギー分野のコンサルティング会社による「都市と里の関係の再構築」を目指した取組みで、都市と里をつなぐ交流拠点に生物多様性の保全・再生のための草地や、水辺のビオトープ等を整備するプラン。都市の環境保全のシンボリック空間となるものとして期待できる点等が評価された。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	りくカフェガーデンを 核とした「未来コミュニ ティ」の醸成 (岩手県陸前高田市)	特定非営利 活動法人 りくカフェ	東日本大震災直後から住民を繋ぐ場としての機能を果たしてきたものの、仮設住宅の廃止等により活動が低迷してしまったガーデンをリニューアルするプラン。ガーデン整備やイベント運営等を通じて住民同士の繋がりを取り戻し、生きがいづくりと地域の連帯感の醸成、健康でいきいきと暮らせる未来のコミュニティづくりを目指す点が評価された。	

◎コミュニティ大賞 <8点>


部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	未来へのかけ橋 — 生命かがやく 学校林 — (宮城県石巻市)	たぶのきネット ワーク石巻	地域の学校林を再生し、国蝶オオムラサキの生息環境の保全を目指すプラン。タブノキや柑橘類の植樹、果実の収穫や木の実を使った工作イベントや、出前授業などを通じて、自然や地域の歴史・文化に親しみ、それらを次世代へ継承することを目指す点が評価された。	
	まもろう！それいゆの 自然！育てよう！ 麻生のわ (神奈川県川崎市)	社会福祉法人 三篠会 それいゆ保育園	子どもたちの健やかな成長を願い、園児と保護者、地域住民、近隣の大学関係者などがともに園庭の緑化を行うプラン。整備作業を通じた地域との交流や、多種多様な樹木などの自然との触れ合いにより、子どもたちの感性を伸ばし五感をより豊かにすることを目指す点が評価された。	
	外国人と作る ベジガーデン (福井県坂井市)	坂井市国際 交流協会	交流の場として活用してきたガーデンを、野菜と花が併存するベジガーデン形式とし、さらに充実させるプラン。外国人の技能実習生が多く居住する地域において、国際社会に対応した魅力ある街づくりを目指し、ともに野菜・花の育成に取り組みながら相互理解促進と多文化共生の実現を目指す点が評価された。	
	縁が輪(縁側)に なる庭 (岐阜県可児市)	岐阜県立国際 園芸アカデミー	「ぎふワールド・ローズガーデン」内の教養施設「花とぴあ」周辺の庭園をリニューアルするプラン。憩いの場である「縁側」をイメージした庭園において、「公園を訪れる人々、花や緑に関心ある人々の縁を繋ぎ、健康で心豊かな生活の一助としたい」という思いを表現する点が評価された。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	開け、緑の玄関！ (大阪府堺市)	社会福祉法人 光陽会 認定子ども園 光陽会しんひの おだい	こども園と隣接する公園との境界部分を玄関のように整備し、地域の風景の一体化を図るプラン。子どもたちに季節の移ろいや生命の営みを感じられる場を提供し、五感を刺激するとともに、地域住民にも開かれた憩いと交流の場の実現を目指す点が評価された。	
	アトリパークでESD ～みんなが笑顔の コミュニティ～ (大阪府大阪市)	大阪市内 瓜破西小学校	多様な世代や立場の人々が自然と親しむことができる、持続可能な学校ビオトープ(通称:アトリパーク)の整備を行うプラン。子どもたちが生物多様性や資源循環等について知識を有する人材となることが期待される点、学校を地域コミュニティの重要な拠点として機能させる点が評価された。	
	自然と共存・緑で 地域がつながる 「ころりん広場」 (福岡県糸島市)	NPO法人 西日本環境 ネットワーク	子どもたちが農業体験や花づくりを通して、自然や環境の大切さを学ぶことのできるコミュニティ広場を設置するプラン。経験豊富な方々による子どもたちへの農業指導や、季節の草花を楽しめる住民の憩いの場を提供することで、地域のつながりを深める役割を果たす点が評価された。	
	緑と水と生命 ～みんなで共生する 環境を～ (宮崎県北諸県郡 三股町)	社会福祉法人 ゆりかご会 認定子ども園 みどり保育園	緑・水・生命とのふれあいを通じて、子どもたちの豊かな感性を育む園庭を整備するプラン。ビオトープの水辺に息づく植物や生き物、色や香りが楽しめる樹木など、自然や四季の変化に触れることのできる環境を子どもたちに提供する点が評価された。	


第 44 回 緑の都市賞 審査結果



全国から、緑の市民協働部門 14 点、緑の事業活動部門 13 点、緑のまちづくり部門 4 点、計 31 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。(活動助成金:「緑の市民協働部門」のみ、5~20 万円)

◎内閣総理大臣賞 <1 点>



部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働	命をつなぐPROJECT (愛知県知多市、東海市、大府市)	特定非営利活動法人 日本エコロジスト 支援協会/ 命をつなぐ PROJECT 学生実行委員会	知多半島臨海部の工業地帯に作られた緩衝緑地帯を主な舞台とし、学生組織が主体となり緑地の生物多様性向上に資する活動を行っている。地域の生態系ネットワークの形成と、次世代の育成を目指す、産官学民連携のプロジェクト。全国の緩衝緑地帯での生物多様性に寄与する取組のプロトタイプになり得る点や、COP10 から続く「愛知」の時代を先行した社会的な枠組であることなどが高く評価された。	

◎国土交通大臣賞 <3 点>


部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の事業活動	再生の杜ビオトープ: 都市の生態系回復 実証と地域共創 (東京都江東区)	清水建設 株式会社 技術研究所	都心臨海部の埋立地に多様な動植物が生息できる緑地を創出し、15年以上育成とモニタリングを継続している。絶滅危惧種を含む300種以上が継続的に確認され、生態系ネットワークに貢献している。閉鎖的な施設でありながら、環境教育や産官民による地域連携の場としての活用、自社物件への技術活用などの広がりを持った取組が評価された。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の事業活動	大阪ガス 実験集合住宅 NEXT21 (大阪府大阪市)	大阪ガス 株式会社	緑地の少ない大阪市内で建物緑化の検証実験を竣工した1993年から開始し、維持管理を30年間継続している先駆的事例。近年、積極的に地域への関わりを増やし、地域の関係者や有識者を交えながら運営を行っている。長期にわたるモニタリングの継続による技術的知見の蓄積と、緑地としての広がりや地域への貢献に向けた試みや活動が評価された。	
緑のまちづくり	ばらのまち福山 「ばらの花 いっぱい運動」 (広島県福山市)	福山市	戦後行われた市民主導によるまちの復興と平和を願ったばらの植栽を契機に、ばらのまちづくりを進めている。「ローズマインド(思いやり・優しさ・助け合いの心)」を育みながら、市民と行政が協働し「100万本のばらが咲き誇るまち」としての都市ブランドを確立している。様々な条例や計画を策定し、市全体でまちづくりとして取り組んでいる点が評価された。	

◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働	呉羽悠久の森と里山のあわいを繋ぐ持続可能な森づくり (富山県富山市)	NPO法人 きんたろう 倶楽部	里山を再生し、森と街をつなぎ、持続的な循環の流れを構築すべく、近隣の地域団体と協働し毎月市民ウォーキングを開催するほか、地元の子供たちが自然に親しみ、学習する場を創出し、未来の緑を守る人材育成に取り組んでいる。	
緑の事業活動	デンソー善明製作所 生物多様性に配慮した緑地づくり (愛知県西尾市)	株式会社 デンソー 善明製作所/ 株式会社 オオバ	1998年の操業当時からビオトープを設置し、地域の絶滅危惧種の生息環境復元を行っている。また森づくりを12年間継続、地域と協働した2つ目のビオトープを設置するなど、地元児童への環境学習の場と、地域の憩いとなる緑を提供している。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働	化女沼の桜で 未来の子供たちに 夢と希望を！ (宮城県大崎市)	化女沼 2000本桜の会	荒廃していた化女沼ダム湖畔に市民協働で桜を植樹し、未来に桜の景勝地を残そうと2000年から活動している。美化活動を通して里地里山の豊かな自然を守り、景観形成による賑わいの創出、交流人口の拡大、健康福祉の増進等に貢献している。	



◎奨励賞 <4点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働	しのばずホッププロジェクト (東京都台東区)	しのばずホッププロジェクト/ 東京大学大学院都市デザイン研究室	緑が少なくコミュニティも弱まりつつある上野・不忍池周辺で、2021年から地元商店会と東大が連携してホップ栽培を行っている。地元ブルワリーでの醸造や、地元企業、行政等の参加等を得て活動を拡充している。	
緑の市民協働	環境デザイン科による地域貢献活動 (岐阜県美濃加茂市)	岐阜県立加茂農林高等学校環境デザイン科	平成30年より、生徒が学業で身に付けた技術を活かし、行政や地域と連携しながら、地域の高齢者単身世帯の樹木管理実習を実施している。また、地元中学校等の樹木管理等も行い、地域に広く貢献している。	
緑の市民協働	蝶ハッピー、みんなハッピー花壇 (奈良県磯城郡田原本町)	奈良県立磯城野高等学校理科部 Flowers	駅前に福祉交流バタフライガーデンとして花壇を整備し、行政や地域と協力しながら維持管理を行うことで、高齢者の健康促進等に貢献している。地域の小学校等にも花壇を設置し、緑や生物多様性の普及に努めている。	
緑の事業活動	森林保全に繋がる新しいカタチの観葉植物「戻り苗」事業 (和歌山県田辺市)	株式会社ソマノベース	2021年より、戻り苗という植林用の苗木を育てる新しい形の観葉植物を製作・販売している。育苗期間中に森林に関する勉強会等も実施しており、育苗、植林を通じ、木と関わる楽しさや大切さを伝えている。	



第 23 回 緑化技術コンクール 審査結果

全国から、緑化施設部門 28 点、特定テーマ部門 6 点、計 34 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。


◎国土交通大臣賞 <2点>


部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設	本の森ちゅうおう(中央区立京橋図書館・中央区立郷土資料館) (東京都中央区)	株式会社類設計室/ 松井建設株式会社/ 坪井工業株式会社/ 株式会社クリスタル ジャパン	本施設は、大都市東京の真ん中で森を感じる場、歴史・文化に親しむ「知の森」を意図した緑化施設である。豊かな緑に包まれた快適な読書環境と周辺の公共施設群を緑でつなぐべく、多様で立体的な緑化計画、確実な緑化技術を活用し、東京都の緑化基準の約 2 倍の緑化面積を実現している。	
緑化施設	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ (東京都世田谷区)	株式会社 佐藤総合計画/ 株式会社 ランドスケープ・プラス	本施設は、武蔵野台地の際に位置する環境を活かし、緑と水のつながりを取り入れた緑化施設である。「みどりの丘」「ジャカゴ樋」「レインガーデン」により、施設全体で気候変動社会と都市災害に対応した「グリーンインフラアーキテクチャー」を形成し、地域環境の多様性と持続性に寄与している。	

◎環境大臣賞 <2点>



部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設	ロハス工学センター棟 ロハスの森「ホール」 (福島県郡山市)	日本大学工学部 浦部智義研究室 +ロハス工学センター/ 株式会社はりゅう ウッドスタジオ/ 株式会社蔭山工務店/ 株式会社 日比谷アメニス	本施設は、LOHASを教育・研究のコンセプトとする地方大学構内の緑化施設である。チガヤをベースとした緑化マット、機能性炭による水質浄化とアクアポニックス等、環境面・視覚面の仕掛けに加え、積極的に木材を利用した特徴的なデザインは、キャンパスの顔として高い宣伝効果を有している。	
緑化施設	那覇市本庁舎 (沖縄県那覇市)	株式会社国建/ 株式会社 環境設計国建	本施設は、“みどりあふれる庁舎をみんなで作る”をテーマとした緑化施設である。誰もが自由に緑と触れ合える屋上庭園、強風対策を施した壁面緑化、緑のカーテンによる市民・職員の憩いの場を提供することで、「亜熱帯庭園都市」にふさわしい、都市緑化を牽引する施設となっている。	

◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設	YANMAR TOKYO (東京都中央区)	ヤンマーコーポレーション 株式会社/ 株式会社日建設計/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社朝日興産/ 株式会社プラネット/ 株式会社 稲治造園工務所	本施設は、東京駅前の建築屋内外を一体化したバーチャルグリーンウォールを有する緑化施設である。緑化ユニットルーバーを積層した屋外壁面緑化、地下1階から3フロアを貫く吹き抜け空間の水耕栽培型の屋内壁面緑化により、都市における人と自然が共生するウェルビーイングな姿を示している。	

緑化施設	サントリー天然水 北アルプス 信濃の森工場 (長野県大町市)	サントリープロダクツ 株式会社 天然水北アルプス 信濃の森工場/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社 愛植物設計事務所	本施設は、北アルプス山麓に位置し、自然景観資源を生かした緑化施設である。景観資源マッピングと地元の植木生産者との連携による敷地内自然景観資源の活用、アカマツ林の伐採による林相転換と材の有効活用、隣接する国営公園と連携した環境学習支援プログラム等の緑化技術が導入されている。	
------	---	---	--	---

◎都市緑化機構会長賞<2点>

部門	作品名(緑化施設部門は場所、特定テーマ部門は製品・技術)	受賞者名	概要	
緑化施設	大阪ガス 実験集合住宅 NEXT21 (大阪府大阪市)	大阪ガス株式会社/ 株式会社集工舎 建築都市デザイン 研究所	本施設は、建物全体を立体的な緑地として計画し、周辺の都市公園と連担した緑のネットワークを構築する緑化施設である。エコロジカルガーデンや屋上庭園等、積層した人工地盤の特性を活かし、建物全体で豊かな植栽空間を創出するだけでなく、時代の要請に合わせた多様な取組を継続している。	
特定テーマ	最適雨水貯留量 シミュレーション ツール	株式会社 日比谷アメニス	本技術は、誰もが雨水の利活用に取り組めるよう、その基礎となる計算ツールである。計画地域の降雨傾向から効率的な1日当たりの需要高及びその最適な貯留高とのバランスを検証し、過去の降雨データおよび計画の総集水面積と集水効率の検討から、雨水貯留槽の容量と形状の決定を支援している。	

◎2027年国際園芸博覧会協会特別賞<1点>

部門	作品名(製品・技術)	受賞者名	概要	
特定テーマ	防草シート付不織布ポット「ウエキング」	株式会社環緑	<p>本技術は、鉢による植木栽培において、除草作業をなくし、根域の通気性を向上させることで、健全な育苗を実現するポットである。鉢物の除草作業に費やされた時間とコストを軽減、また、従来のポット苗に多く見られた「ルーピング」と老化根を抑制し、「より枯れにくい苗」の栽培を可能にしている。</p>	